

第35回ちびっこカップサッカー大会 兼 第14回とまこまい・あそび塾杯少年サッカー大会 兼第23回岩内町長杯全道少年U-10
サッカー南北海道大会 苫小牧地区予選 大会要項

- 1 主催 苫小牧地区サッカー協会
- 2 後援 「総合型地域スポーツクラブ」一般財団法人 とまこまい・あそび塾
- 3 主管 苫小牧地区サッカー協会 第4種委員会
- 4 協賛 「総合型地域スポーツクラブ」一般財団法人 とまこまい・あそび塾
- 5 期日 2026年8月22日（土）、23日（日）
- 6 会場 TOMASEIフットボールフィールド
- 7 参加資格
 - ① 「参加チーム」は今年度（公財）日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）
 - ② 「参加選手」は上記「加盟チーム」に所属する選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めない
 - ③ 同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。
 - ④ 第4種年代の女子選手については（「クラブ申請」を承認された）同一「クラブ」内のほかのチームか
 - ⑤ 各チームの登録選手は、公益財団法人日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真張り付けの
 - ⑥ 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、ベンチ入りするチーム
 - ⑦ 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
 - ⑧ 「参加チーム」は必ず『傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険）等』に加入していること。
 - ⑨ 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続
 - ⑩ 複数チームエントリーする際は、各チームに公認指導ライセンス保持指導者及び帯同審判員が必要であ※ 道南ブロック、南北海道大会、北海道大会についてはそちらの要項に従うこと。
- 8 参加チーム 「参加チーム」の構成は、選手16名以内、引率指導者4名以内とする。
- 9 大会形式
 - （1）競技方法は次の通りとする。
 - ① 出場チームを5ブロックに分け、予選リーグを行う。
 - ② 予選リーグ各ブロックの上位8チームが決勝トーナメントへ進出する。
 - ③ 予選リーグにおける順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝ち点により、勝ち点の多い
 - 【1】全試合の得失点差（総得点-総失点）
 - 【2】全試合の得点
 - 【3】当該チーム同士の対戦成績（勝負）
 - 【4】【1】～【3】の全項目において同一の場合は、PK方式（3人）にて勝敗を決定する。
 - ④ 本大会の優勝チームは、岩内町長杯全道少年サッカー岩内大会に進出する。
- 10 競技規則
 - （1）（公財）日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。但し、詳細に関しては本大会用として
 - （2）ゴールキーパーの負傷退場等のより、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに変わる
- 11 競技のフィールド
 - （1）フィールドの長さ（タッチライン）は60m、幅（ゴールライン）40mとする。
 - （2）その他ペナルティーエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
 - （3）ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。※ゴールは競技者が
 - （4）交代ゾーン：自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインハーフウェーに6mの交代ゾーンを設け4号球を使用する。
- 12 試合球 4号球を使用する。
- 13 競技者の数および交代
 - （1）1チーム8人の競技者によっておこなわれる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。本
 - （2）登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出
 - （3）交代の手続き
 - ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外にでる。
 - ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代で退
 - ④ 交代について、主審・副審の承認を得る必要はない。
 - （4）ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ代わることができる。本大会にお
- 14 競技者の用具
 - （1）競技者の用具については、大会実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」および「ユニ
 - （2）選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
 - （3）ユニフォームの広告表示については、（公財）日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基
 - （4）ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は正の他に、副として正と色の異なるユニフォーム
 - （5）審判（黒色）と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。（公財）日本サッ
 - （6）シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号をつけること。
 - （7）不測の事態によりGKを変更する場合、ピブスでの対応を可とする
- 15 テクニカルエリア
 - （1）テクニカルエリア（ベンチ）にはいることができる人数は、交代要員8名、引率指導者4名とする。
 - （2）その都度ただ1人の引率指導者のみが、戦略的指示を与えることができる。
- 16 審判員 主審・補助審判の2名で運営する。
- 17 試合時間
 - （1）試合時間は前、後半とも12分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始ま
 - （2）既定の試合時間内に勝敗が決定しない場合は、いわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定す
 - （3）暑熱下において、前、後半中ほどに飲水タイムを採用する。
- 18 警告・退場
 - （1）競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することがで

- (2) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置について
- (3) 本大会の異なる試合において警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は苫小牧地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員に

19 参加料

20 組み合わせ 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会代表者会議でおこなう。

21 帯同審判員 (1) 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員を帯同させる事。(2名が望ましい)
(2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務に当たらせるものとする。

22 開会式 開会式はおこなわない。

23 閉会式 閉会式はおこなわない。ただし、優勝・準優勝・3位2チームによる表彰式をおこなう。

24 その他

- ① 大会規定に違反し、その他不都合な行為が発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
- ② 自チームの試合の1試合前までにユニフォームチェックを行う事。
- ③ 選手の保護者・関係者のマナー遵守(路上駐車、喫煙マナー、会場内でのすべての言動、保護者・関係
- ④ 帯同審判で大会を運営するので、各チームは審判割り当てを遵守すること。
- ⑤ 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には大会委員長・審判長・事業委員会において競技の
- ⑥ 上位__チームは2025年7月19日に小樽地区(岩内)で開催される第22回岩内町長杯全道少年(U-
- ⑦ 監督またはベンチ役員が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した際
- ⑧ 本協議会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係
- ⑨ 不測の事態が発生した際には大会実行委員長(4種委員長)により実行委員会を開き協議する。